

そよかぜだより

2021
2月号

そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>



一月(如月)

早いもので、新年を迎えてから一か月が経ちましたね。まだ朝晩は寒さが続きますが、日中は暖かいと感じるようが多くなってきました。

暖かくなってきた、花粉が飛び始め花粉症の方はつらい季節がやってきます。今は、コロナ対策で窓を開け換気を行わないといけない為、大変だと思います。お家では、窓は十センチほどあけ、シーカーテンを閉めておけば、花粉も入りこく換気も十分に行えると思います。今後も、感染予防を行い元気に過ごしましょう。

ひな祭り

来月はひな祭りですね。雛人形を飾る方もいらっしやると思います。雛人形は子供の身代わりとなり、事故や病気から守ってくれ、子供の健やかで幸せな成長を祝うために飾るとされています。そして、節句が終わったらすぐに片付けた方が良くとされ、早くしまわなければ縁起が悪いと言われています。

また「雛人形の片付けが遅れるとお嫁に行くのが遅くなる」という話は、いつまでも雛人形を飾っておくと梅雨も近づき、カビの心配もあることから「片付けも満足にできないようではきちん」とした女性になれない、良いお嫁さんになれない」という戒めのためと言われています。

全身管理下での歯科治療

現在、少子高齢化が進んでいる日本において何らかの全身疾患を持った方が歯科治療を受けるケースが増えています。日常の診療においてもこのようなケースは珍しくありません。その場合、有病者、心因的に不安定な方が歯科治療を受ける際に行われる全身状態の把握法についてお話します。

① 術前に行うこと

まず、何れの問題診です。その中で現在、患者様自身がお持ちになる疾患、精神状態を聞き取ることが大切です。それにより使用されている薬剤、治療法について知ることが肝心です。場合によっては内科、薬科に対して照会をお願いする場合があります。これにより決定する歯科治療が可能であるかどうか、できるだけ楽に歯科治療を受けることが出来るように計画します。

② 術中に行うこと

治療計画に基づいて治療開始しますが必要に応じて経時的な血圧、血液酸素濃度の測定を行う場合があります。更に状況に応じて血圧の変動等が大きい場合には、笑気ガスによる鎮静法、静脈内に薬物を注入しながら行う鎮静法を用いて治療に入ることがあります。それぞれ患者様に合った方法を選択します。

③ 術後に行うこと

治療計画を元に術後のリカバーをしっかりと行うことが肝要です。必要に応じて薬の処方などを行い、経過を観察します。このような手順を進めていきますが、診療室ではリカバーできないことに制限があったり、全身麻酔が必要な場合には、入院設備のある大学病院や総合病院に転院して頂く場合があります。

海外のホワイトデー

お隣の国、韓国では日本と同様にバレンタインデーには女性から男性にチョコレートを渡す文化があります。3月14日には、男性がお返しをするホワイトデーもあって、日本よりも盛大に祝っているそうです。韓国のホワイトデーの起源は、日本のホワイトデーだと言われていて、日本と文化が似ているから定着しやすかったといわれています。

韓国には、4月14日にブラックデーという日があるのですが、バレンタインデー、ホワイトデーに何ももらえなかったシングルたちが、黒い服を着てジャージャー麺を食べる日だそうです。

院長より

今年に入り、新型コロナウイルス感染症の患者数増大により、昨年引き続き首都圏をはじめとする緊急事態宣言の発令により、窮屈な日常生活になっております。不要不急の外出を避けるように指示されているため、何か街中が暗い感じがします。特に、夕方以降の人通りもかなり少なく感じます。このような背景の中、今月末から新型コロナウイルスのワクチン接種が始まります。長いトンネルから出るきっかけになることを祈るばかりです。特に良い経済効果につながる事を期待しています。オイルショック、バブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災など数々の試練がありました。今回はいくらの試練より大きく思えます。ですので早く、不要不急の外出制限が解除され、カッパい汗を流せる世の中になることを今は願っています。